

◆大名まで出世した学識高き 黒田直邦 (1666~1735)

黒田直邦は、江戸中期の大名（下館藩主/その後沼田藩主）で、高麗郡中山村（現飯能市中山）の豪族中山氏の血筋を引く郷土の偉人です。飯能にも多くの所領を有し、菩提寺能仁寺や東吾野の長念寺にもゆかりの品があります。

直邦は、寛文6年（1666）12月に旗本中山直張（なおはる）の三男として江戸で生まれました。高祖父に戦国末期、後北条氏に仕えた中山家範（いへのり）、曾祖父に徳川家に仕え大坂の陣で功を挙げた中山照守（てるもり）がいます。直邦の母は、上野国（現群馬県）館林藩の家老黒田用綱（もちつな）の娘で、直邦は黒田家の養子となりました。もともと直重と名乗りましたが、享保9年（1724）將軍吉宗の子長福丸が家重と改名したことから、「重」の字を避け以来、直邦と名乗りました。

直邦の栄達は、館林藩主徳川綱吉の長子徳松（早逝）の傅役（もりやく・養育係）となったことから始まります。その後、綱吉が宗家を継ぎ、5代將軍となると小姓（身辺の雑用係）となり信頼を得ました。これをきっかけに世に知られた儒学者荻生徂徠（おぎゅうそらい）の弟子となり学問を積み、多くの著書も残しました。

26歳の時、綱吉のお声掛かりで側用人 柳沢吉保（よしやす）の養女 土佐子と縁組しました。土佐子は直邦を学問の師とし、良く歌をうたい、『石原の記』『言の葉草』などの著作も残しました。

直邦は加増を重ね、元禄16年（1703）に常陸国（現茨城県）下館藩1万5千石の藩主となり、4年後には、飯能、久下分、真能寺、中山の4ヶ村を黒田領とし、能仁寺の興隆に尽くすなどしました。

徳川吉宗が將軍となると、享保8年（1723）に奏者番（城中における礼式の管理者）と寺社奉行を兼任、享保17年（1732）に西の丸老中となり世子家重身辺の執務に当たりました。この年、上野国沼田藩に転封となり、石高は2万5千石、西の丸老中就任後は、更に加増され3万石となりました。

このように、綱吉、吉宗の治世で飛躍した直邦は、享保20年古希の祝いの直後から体調を崩し、吉宗や家重の使者が見舞いに遣わされるなどしましたが、3月に没しました。盛大な葬儀の後、多峰主山（とうのすやま）の山頂付近に葬られ墓所が整えられました。直邦亡き後、黒田直純（1705~1776）が沼田藩主を継ぎ、その後上総国久留里藩に転封となりました。黒田家は明治維新に至るまで9代に亘り久留里藩主をつとめました。

高麗神社社務所 埼玉県日高市新堀833 電話 042-989-1403

第九回 高麗郡偉人伝

徳川五代將軍・綱吉と八代將軍・吉宗の厚い信任をうけて出世した飯能とゆかりの深い大名 黒田直邦 特別展



直邦の時代に作った鎧「紺絲威鎧」
写真提供：靖國神社
※会場では、鎧自体の展示はありません。
ほぼ原寸大の写真タペストリーを展示いたします。



黒田直邦 肖像画
(写真提供：君津市立久留里城址資料館)

開催期間：令和6年8月24日（土）～9月1日（日）

展示会場：高麗神社 参集殿2階 大広間

開場時間：9：00～16：00 ※入場無料

<講演会 及びトークセッション> ※事前申込み・両日とも各40名/参加無料/他、中面参照

■ 8月25日（日）13:30～15:30 講師：流通経済大学 教授 酒入陽子 氏

■ 8月31日（土）13:00～15:00 講師：君津市立久留里城址資料館 副館長 平塚憲一 氏

<紙芝居 上演> ■ 期間内に複数日実施 ※展示会場内/自由参加・無料/他、中面参照

<ゆかりの史跡を巡る歴史見学会>

● 8月27日（火）※事前申込み/定員・参加費有り/他、中面参照

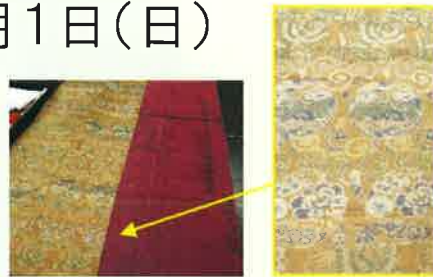
主催：高麗神社<埼玉県日高市新堀833 電話 042-989-1403>/企画運営：高麗郡偉人伝企画運営委員会
<後援>埼玉県西部地域振興センター/日高市/日高市教育委員会/飯能市/飯能市教育委員会
テレ玉/飯能日高テレビ/埼玉新聞社/文化新聞(株)/(順不同)

◆ **展示会** 会場:高麗神社 参集殿2階 **※入場無料**

展示期間 — 令和6年 8月24日(土)~9月1日(日)

開場時間 — 9:00~16:00

黒田直邦の人物像とその生涯について、飯能出身の中山氏一族の特徴から、徳川5代將軍綱吉および8代將軍吉宗の時代にかけて大名まで出た歩みを、第1章「中山姓から黒田姓へ」、第2章「黒田直邦の人物と業績」、第3章「その後の黒田家の歩み」にわけて、解説パネルで分かり易く紹介します。入場特典:「黒田直邦人物解説ガイド」パンフレット配布します。



長念寺所蔵の打敷・將軍綱吉の側用人で、直邦の義父である柳沢吉保が元禄5年(1692)長念寺に寄付したもの

◆ **講演会** 会場:高麗神社 参集殿2階

■ 8月25日(日)13:30~15:30 **※事前申込み**

【第1部】 講演:『黒田直邦の残した記録~「暇之記」を読み解く~』<約50分>

講師: 流通経済大学 教授 酒入陽子 氏



<講師コメント>黒田直邦という人物は、徳川將軍綱吉の側近で、政治・学問・文化など多方面で活躍した大名ですが、今ではあまり知られていません。能仁寺には黒田家歴代の墓が現存し、多峯主山山頂近くには、直邦の立派な墓もあります。しかし、なぜ直邦の墓が飯能にあるのでしょうか。今回紹介する「暇之記」には、直邦がこの地を訪れたことも記されています。「暇之記」を通して、直邦が訪れ、黒田家ゆかりの地域の方々に、もっと直邦のことを知っていただければと思っています。

【第2部】 トークセッション<約45分> 酒入陽子 氏 と 高麗文康 <高麗神社 宮司>

■ 8月31日(土)13:00~15:00 **※事前申込み**

【第1部】 講演:『黒田直邦の遺徳と上総久留里藩黒田氏』<約50分>

講師: 君津市立久留里城址資料館 副館長 平塚憲一 氏



<講師コメント>黒田直邦の死後、やがて黒田氏は封を上総国久留里に移しますが、藩祖直邦の精神・遺徳は久留里藩黒田氏歴代と家臣にも脈々と受け継がれています。講演では、それらを示す資料や直邦にまつわる数々のエピソードについて紹介します。

【第2部】 トークセッション<約45分> 平塚憲一 氏 と 高麗文康

<講演会 参加申込み>

- 受付期間:8月1日(木)~8月30日(金) (両日定員に達し次第、締め切ります)
- 定員: 各 40名
- 参加費: 無料
- 対象: 中学生以上
- 申込み方法:電話・神社窓口のいずれかにて申込み。(必要事項:氏名・住所・連絡先・年齢など)
- 申込み先:高麗神社 受付時間: 8月1日は9:00~(8/2以降は8:30~17:00) TEL 042-989-1403

◆ **ビデオ放映『黒田直邦ゆかりの地を訪ねる』(約5分) ※期間中 毎日放映**

<内容>

飯能の能仁寺・多峯主山・長念寺のほか、ゆかりある茨城県の下館城跡や千葉県の久留里城跡の風景などを、空撮で紹介予定。

◆ **体験イベント① 紙芝居 上演 『三万石大名・黒田直邦物語』(約30分)**

上演日: 8月24日(土)~9月1日(日) ※28日(水)のみ休み **※申し込みの必要はありません。自由参加**

時間: 午前10時 / 午後2時 (但し 25日・27日・31日は、午前10時のみとなります)

会場: 高麗神社 参集殿2階 大広間

上演者: 展示解説員・山崎綾子(やまざき あやこ)氏

内容:黒田直邦の人物と足跡を紙芝居でわかりやすく学ぶことができます。

◆ **体験イベント② 現地歴史見学会 8月27日(火) 13:30~16:30**

『飯能市内の黒田氏ゆかりの史跡をめぐる』 <※小雨決行>

【見学地】 能仁寺と長念寺など

【定員】 20名(事前申込み・先着順)

【参加費】 500円(資料 / 保険代等) ※当日集めさせていただきます。

【日程】 案内解説・・・村上達哉 学芸員(飯能市立博物館)

13:30 (集合) 飯能市立博物館

14:00 能仁寺(中山家の墓所、黒田家の墓所など)
(貸切りバスで移動予定)

15:20 長念寺(延貞の墓、観音堂など)
(貸切りバスで移動予定)

16:30 (解散) 飯能市立博物館



能仁寺開山堂



長念寺 本堂



能仁寺の黒田家墓所

【申込み】 8月1日(木)より高麗神社にて(申込時間は講演会に同じ)

申込み方法:「電話 042-989-1403」または「神社窓口まで」

(必要事項:氏名・住所・連絡先・年齢など)

※申込者には、後日詳しい内容の案内ハガキを通知いたします。

【注意】山の斜面の墓地階段をのぼるため、ご自身の体力・足腰を考慮してください。

また、熱中症対策をお願いいたします。

<高麗郡偉人伝 協力団体紹介> 飯能市立博物館きつとす / 能仁寺 / 長念寺 / 岩殿観音 正法寺
君津市立久留里城址資料館 / 靖國神社「遊就館」 (※順不同)